

平成14年度上田女子短期大学観光文化研究所・委員

所 長	松田 幸子
主任 研究員	中西 満義
副主任研究員	塩入 秀敏
研 究 員	大橋 敦夫、西山 秀人
	長田 真紀、山田 美幸

《編 集 後 記》

ここに、上田女子短期大学観光文化研究所『所報』創刊号をお届けいたします。今号には寄稿論文3本、地域文化紹介1本、ならびに、観光文化研究所諸活動の報告を掲載することができました。玉稿をお寄せいただきました皆様に、心よりお礼を申し上げます。

信州の地には、様々な観光資源が存在しております。有名、無名、大小数え切れるものではありませんが、一つ一つを凝視してみると、必ずドラマというものが存在するものです。これら資源をその場しのぎではなく、過去から現在へ、未来へつなげ、広げてゆく場合、最も必要なものは何か。それは「可視できないものに対する理解」ではないかと考えます。

さて、平成14年4月、本学に日本文化学科が誕生しました。そして、初年度は約50名の学生が入学し、勉学に励んでおります。目に見えないものを理解することは必ずしも容易なものではありません。しかし、「観光」を通じて、「ホンモノ」の空気に接し、様々な方向性のある視野を養ってほしいものです。

この研究誌では、「観光」を対象として歴史的、地域的視点を中心に、テーマの発展、進展が予想されるものと思われまます。研究所としては、「これから」の存在ではありますが、今後とも観光文化研究所への変わらぬご協力、ご支援をお願い申し上げます。

(編集委員 山田美幸)